

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-84	中学校	国語科	国語	1
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国語 703	伝え合う言葉 中学国語 1		

1. 編修の基本方針

本教科書は、「教育基本法」に示された教育の目標と「学習指導要領」に示された教科目標を達成するため、それらの基盤となる「言葉の力」を国語科において育てることを目指し、以下のような方針に基づいて編修しています。

(1) 「言葉」を見つめ、「言葉」と関わる力を育てます。

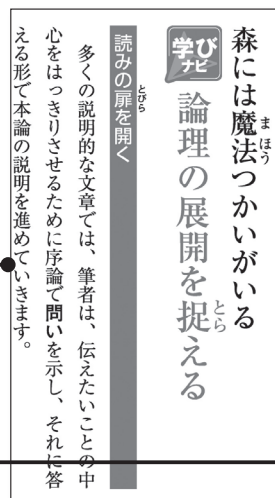
さまざまな話題・題材を取り上げた文章や教材にふれることにより、論理的な思考、感性、情緒、コミュニケーションの基礎となる「言葉」そのものに立ち止まり、言葉を意識的・自覚的に用いることのできる力を育てます。

■情報を捉え、論理的思考力を高める。

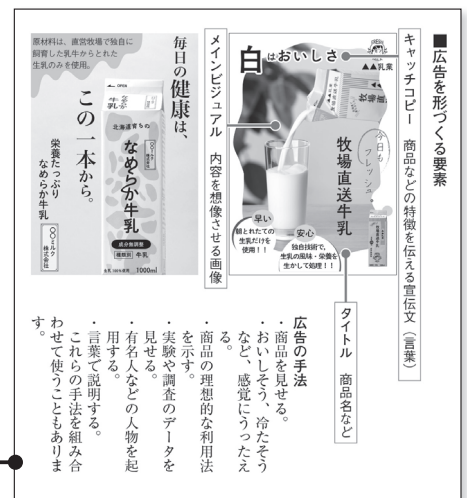
「学びナビ」……「話すこと・聞くこと」
「書くこと」「読むこと」
「メディアと表現」教材
に設定。

「メディアと表現」

- P.62 『全ては編集されている』
- P.64 『写真で「事実」を表現する』
- P.102 『広告の情報を考える』
- P.226 『漫画で「物語」を表現する』



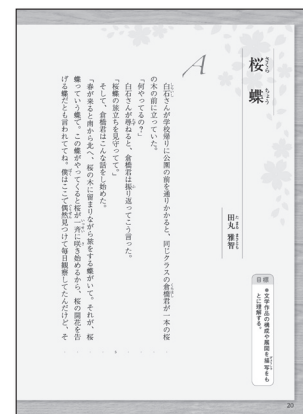
▲P.86 『森には魔法つかいがある』「学びナビ」



▲P.102 『広告の情報を考える』

■価値ある教材、話題にふれ、国語科としての感性や情緒を高める。

- 文学的文章 P.20 『桜蝶』 P.148 『オツベルと象』
P.242 『少年の日の思い出』 P.286 『銀のしずく降る降る』
P.300 『デューク』 P.142 『河童と蛙』 P.236 『四季の詩』 ほか
- 説明的文章 P.34 『自分の脳を知っていますか』
P.172 『子どもの権利』 P.202 『言葉がつなぐ世界遺産』 ほか
- 和歌・俳句 P.30・P.74・P.108・P.234 『四季のたより』



▲P.20 『桜蝶』

対話、交流をととしてコミュニケーションの力を高める。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材



比較・関係つけて根拠を考えるヒント
「健康に長生きするためには」という意見を述べるための根拠について考えよう。

うちのおじいちゃんは七十歳になっても元気だよ。
うしろのおじいちゃんもあてはまるとは限らないからね。
そうだな。体操が健康や長生きにつながっていることが根拠として示せばいいんだけど。
県内で平均寿命トップの〇〇市が、地域の体操教室に力を入れ、活発に開催しているという新聞記事を見つけたよ。
それなら説得力のある根拠になりそうだな。

▲P.100「書くこと」『根拠を明確にして意見文を書く』

▼P.26『言葉とコミュニケーション』

言葉とコミュニケーション

対面コミュニケーションと非対面コミュニケーション

「コミュニケーション能力」って何？
「コミュニケーション能力」について、下の「聞く」のアンケート結果では、六〇パーセント以上の人が言葉との関わりの考えが異なります。

「言葉と社会」

P.26『言葉とコミュニケーション』

P.178『イメージを言葉にする』

語句、語彙を豊かにし、理解や表現に結びつける。

「この教材で学ぶ言葉」

……「読むこと」教材の「みちしるべ」に設定。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材の表現のまとめ

……各教材に設定。

折込④『理解に役立つ言葉』

折込⑥『表現に役立つ言葉』

この教材で学ぶ言葉

34 意要素
34 意際限
36 意理不尽
36 意直感
38 意不調和
36 意さすがに……
36 意文意外なことに

▲P.40『自分の脳を知っていますか』

参考

……をまとめると、……になります。
……ということから、……といえます。

▲P.225「話すこと・聞くこと」『発言を結びつけて話し合う』

表現に役立つ言葉

意見を述べる活動 (P.47)

- ……という観点から考えると…… (意理不調和)
- ……だとすれば……と考えられます (意要素)
- ……ということから……といえます (意さすがに……)
- ……とまとめると……ということになります (意結び)
- ……という前提で考えると…… (意直感)
- ……ということから考えられます (意直感)

▲巻末折込⑧『表現に役立つ言葉』

(2) 「日本と世界の課題」に向き合い、「未来を切り開き、創造する」学びを育てます。

持続可能な開発目標 (SDGs) を踏まえ、社会や世界が直面している課題や社会の多様性にふれ、言葉や表現をととして**未来の社会や世界を切り開き、創造していく力を育てます。**

P.76『持続可能な未来を創るために』

P.172『子どもの権利』

P.212『地域から世界へ——ものづくりで未来を変える——』

「エンカル」に生きよう
末吉 里花

皆さんが着ている洋服は、どこで、誰によって、どのように作られたのでしょうか。今朝飲んだ紅茶は、おやつに食べるチョコレートは、その生産工程を想像してみてください。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
持続可能な開発目標

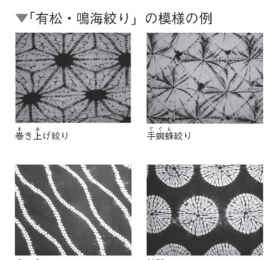
持続可能な未来を創るために
——人の暮らし方を考える——

▲P.80

▲P.76

『持続可能な未来を創るために——人の暮らし方を考える』

▼「有松・鳴海絞り」の模様例



垂し上げ絞り 手駒絞
折り隠し絞り 唐松絞

いやが、着物などに使われてきました。一九七〇年頃に全体の生産量のピークを迎えましたが、着物離れや海外に輸出して作られた安い商品の流入により、一九八〇年頃から徐々に衰退してまいりました。それにより、国内の絞りへの仕事量も減り、かつて百種類以上もいた模様の種類も、現在では七十種類ぐらいいままでに減ってまいりました。

▲P.213『地域から世界へ——ものづくりで未来を変える——』

▼ユニセフによる図解「子どもの権利条約」



生きる権利
成長する権利

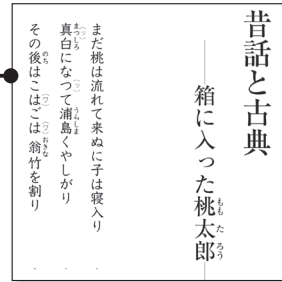
皆さんが着ている洋服は、どこで、誰によって、どのように作られたのでしょうか。今朝飲んだ紅茶は、おやつに食べるチョコレートは、その生産工程を想像してみてください。こうした現実に対して、子どもの権利条約が守られたのが、国連の「子どもの権利委員会」です。

▲P.173『子どもの権利』

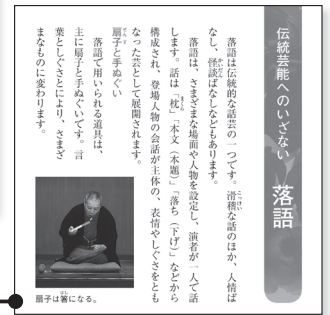
(3) 「日本と郷土の伝統的言語文化」を継承・創造します。

わが国の伝統的な言語文化や郷土の言語文化などを理解し、次の時代や世代に継承し、新たな価値を創造する力を育てます。

- P.110 『昔話と古典——箱に入った桃太郎——』
- P.114 『物語の始まり——竹取物語——』
- P.122 『故事成語——中国の名言——』
- P.128 『蜘蛛の糸』
- P.296 『蓬萊の玉の枝と偽りの苦心談——竹取物語——』
- P.305 『伝統芸能へのいざない 落語』



▲P.110 『昔話と古典——箱に入った桃太郎——』



▲P.305 『伝統芸能へのいざない 落語』

2. 対照表

図書の内容・構成と教育基本法第2条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

- 〈第一号〉 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 〈第二号〉 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第三号〉 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第四号〉 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第五号〉 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

種別	領域等	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
知識及び技能	言葉	日本語の音声 日本語の文字 方言と共通語	●日本語に関する基本的な知識と教養をとおして、日常用いる言語を客観的に分析し、社会性や法則性に自ら気づくことができるように配慮しました。〈第1号〉 ●社会のグローバル化を見据え、日本語と世界の多言語を比較するなどして言葉や文法の知識を身につけ、世界に通用する人材を育成できるように配慮しました。〈第5号〉	P.46 P.260～263 P.166 P.264～267 P.257 P.268～271
		文法 言葉の単位 文の成分 単語のいろいろ		P.27 P.272～274 P.98 P.275～279 P.222 P.280～284
	言語文化	昔話と古典 物語の始まり 故事成語	●生徒が興味をもって接することができるよう親しみやすい作品を厳選しました。美しい絵や写真を掲載するなど、わが国と中国の本格的な伝統文化にふれることができるように、さまざまな工夫を施しました。〈第5号〉	P.110～113 P.114～121 P.122～126
	読書	ベンチ	●ユダヤ人の差別・迫害問題を素材にした教材をとおし、差別の不当さ、平和の大切さを実感できるように配慮しました。〈第3号〉	P.52～61
蜘蛛の糸		●「健陀多」と「お釈迦様」との関係をとおして、善悪をめぐる問題について深く考えることができるよう配慮し、日本を代表する作家の名作を読むことによって、わが国の伝統文化を尊重する態度を養うことができるように配慮しました。〈第3号〉〈第5号〉	P.128～137	
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	内容を整理して説明する	●「未来の自分がどうありたいか」について課題を見つけ、参考となる情報を整理して説明する学習活動をとおして、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるように配慮しました。〈第2号〉	P.47～49
		調べた内容を聞く	●「世界を幸せにするために必要なこと」を課題とし、その報告を聞く活動をとおして、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第1号〉〈第3号〉	P.179～181
		発言を結びつけて話し合う	●いろいろな意見を結びつけ、整理し、自分たちの感想や考えをまとめる活動をとおして、自他の敬愛と協力を重んじ、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるように配慮しました。〈第3号〉	P.223～225

思考力、判断力、表現力等	書	材料を整理して案内文を書く	●目的や意図を意識して、集めた情報を分類・整理する活動をとおして、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養えるように配慮しました。〈第1号〉	P.71～73
		根拠を明確にして意見文を書く	●「健康に長生きするためには」をテーマとした意見文を書く活動をとおして、健やかな身体を養うにはどうしたらよいか考えを深められるように配慮しました。〈第1号〉	P.99～101
		読み手を意識して報告文を整える	●「中学生に必要な睡眠時間」についての報告文を評価する活動をとおして、健やかな身体を養うにはどうしたらよいか考えを深められるように配慮しました。〈第1号〉	P.219～221
	読	桜蝶	●小説と物語とを比較することとおして幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操を培うことができるように工夫しました。〈第1号〉	P.18～24
		オツベルと象	●正義と責任、人権や平等といった課題について、自ら考える態度をもつとともに、公共の精神を追求し続けることができるように配慮しました。〈第3号〉	P.146～164
		少年の日の思い出	●少年の日の苦い思い出を抱えて生きてきた「客」とそれを受け止める「私」との間に、どのような関係性を見いだせるのか考えることによって、自我の芽生えと発達を経験していく中学生が、自主および自律の精神を養えるよう配慮しました。〈第2号〉	P.240～256
		ふしぎ	●現代の人々の共感を集める童謡詩人の詩にふれることによって、他者を尊重する態度を育てることができるように配慮しました。〈第5号〉	P.14～17
		河童と蛙	●個性的な言葉と豊かな発想で書かれた詩にふれることによって、豊かな情操を培い、わが国の言語と文化を尊重する態度を育てることができるように配慮しました。〈第1号〉〈第5号〉	P.140～145
		四季の詩	●国内外の著名な詩を読み、豊かな情操を培い、わが国の伝統と文化を尊重するとともに、他国の伝統と文化も尊重する態度を育むことができるように配慮しました。〈第1号〉〈第5号〉	P.236～238
		自分の脳を知っていますか	●脳の仕組みから人間の存在を理解することとおして、真理を求め、自他への敬愛と協力を重んずる態度を養えるように配慮しました。〈第1号〉〈第3号〉	P.32～40
		森には魔法つかいがある	●森の環境の整備が海の資源の豊かさにつながることを書かれた文章を読むこととおして、幅広い知識と教養を身につけ、生命や自然を尊び、環境の保全に寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第1号〉〈第2号〉	P.86～97
		子どもの権利	●国連子ども権利委員会委員である筆者による「子どもの権利条約」に関する文章を読み、人権に対する考えを深めることとおして、自主及び自律の精神を養い、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参加し、その発展に寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第2号〉〈第3号〉〈第5号〉	P.170～177
		言葉がつなぐ世界遺産	●世界遺産である日光の「東照宮」の保護には、「言葉」が重要な役割を果たしているという筆者の主張にふれ、わが国の伝統と文化、および日本語を尊重する態度を養うことができるように配慮しました。〈第5号〉	P.200～211
地域から世界へ	●世界的な視座から地域の伝統的な工芸品に新たな魅力を見だし、新たな需要を生み出した日本人の紹介をとおして、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度や、伝統と文化を尊重しそれらを育んできたわが国と郷土を愛する態度を養えるように配慮しました。〈第2号〉〈第5号〉	P.212～218		
総合	持続可能な未来を創るために	●持続可能な未来に向けた学びの道筋を示すことで、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養えるように配慮しました。〈第1号〉 ●「エシカル消費」という観点を知り、想像力をはたらかせることで、人や地球環境、社会、地域に配慮した行動を促し、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第4号〉	P.76～85	
メディア	全ては編集されている写真で「事実」を表現する	●写真と言葉を組み合わせた表現活動をとおして、メディアの功罪について知り、社会の形成および参画に生かせるように配慮しました。〈第1号〉〈第3号〉	P.62～63 P.64～67	
付録	銀のしずく降る降る	●先住民族としてのアイヌの文化にふれ、作品をとおしてわが国の伝統と文化の多様性に気づくとともに、地域の伝統と文化を尊重する態度を養うことができるように配慮しました。〈第5号〉	P.286～295	
	理解に役立つ言葉 表現に役立つ言葉	●日常用いる言語について実践的な知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養えるように配慮しました。〈第1号〉	巻末折込④～⑤ 巻末折込⑥～⑦	

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本教科書は、教育基本法に示された義務教育の目的や、学校教育法に示された義務教育の目標などを達成するために、特に以下の点に意を用いて編修しています。

ユニバーサルデザインへの配慮

色覚等の特性を踏まえた、判読しやすい配色（カラーユニバーサルデザイン）やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

特別支援

特別支援が必要な学習者への配慮として、全体をとおしての**統一感や一体感**、**読みやすさ**、**わかりやすさ**を意識したレイアウト、**安心感と安定感**のある色づかい、**トーンバランス**を心がけました。

地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

軽量化

学習者の身体の発達状況を考慮して、**耐久性**、**見やすさ**、**軽さを兼ね備えた教科書用紙**を採用しています。

他校種・教科との連携

小中、中高の接続

第1学年では、「**学びナビ**」で小学校での学習を踏まえた解説を加えるなど、小学校の学習から**段階的に**力を身につけられるような単元や教材の構成を取り入れています。

『**学びのチャレンジ**』では、学力調査や高校入試なども視野に入れ、**高等学校までの学びのつながり**を意識した教材化の工夫をしています。

教科間の連携

国語科としての見方・考え方をはたらかせることによつて、学びの基礎を育む構成にしました。

* 話題や言語活動の連携

「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材の「**学びを生かそう**」では、他教科の学習や日常の場面で、**国語科で学んだ内容や言語活動を生かす**観点を示しています。

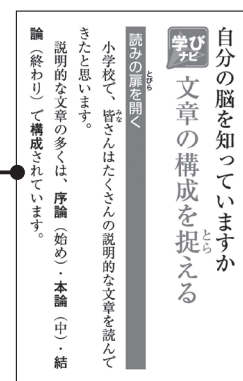
* 思考や語彙の重視によって育成を目指す資質・能力の連携

各教科で扱う以下のような資質・能力について、**思考や語彙を明確に取り上げ**ました。

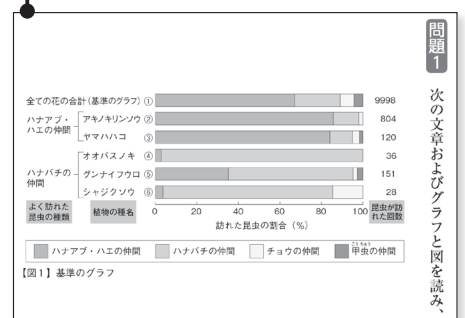
①言葉で表す力（言語的リテラシー） ②自ら考える力（論理的思考力・問題発見解決能力・メタ認知力） ③共に学ぶ力（人間関係形成力）

* 他言語と日本語の関わり

言葉のはたらきや文法の仕組みを学習する際、他言語（主に英語）との比較をとおして、日本語の理解がより深まるよう配慮しました。



▲P.32 『自分の脳を知っていますか』
「学びナビ」



▲P.187 『学びのチャレンジ』



▲P.27 『文法の小窓 1 言葉の単位』

学びを生かそう 他教科で自分の意見を明確にする場合に生かそう。

▲P.43
ほか

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-84	中学校	国語科	国語	1
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国語 703	伝え合う言葉 中学国語 1		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本教科書は、国語科における「言葉による見方・考え方」をはたらかせるための魅力ある「言語活動」を位置づけた「主体的・対話的で深い学び」を設定し、社会生活に生きてはたらく「資質・能力」を育むことを目指し、以下のような編修上の工夫をはかっています。

「主体的、対話的で深い学び」を実現するための教科書構成の二大特徴 ①

1. 単元の構成と学びを進める七つのキーワードにより、多様な話題への取り組みをとおして言葉の力を高める

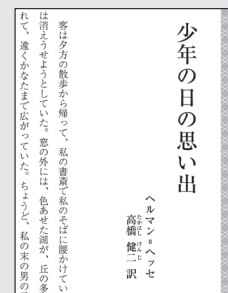
●本教科書では、国語科の課題、学習者を取り巻く課題を考えるためのキーワードを七つにまとめ、三年間でそれぞれの単元に設定しています。

- 表現／対話／思想
- 自然／環境／科学
- 人権／多様性／平和
- 伝統／文化／歴史
- 身体／生命／家族
- 近代化／国際社会／共生
- 自己／他者／物語

●これらのキーワードは、国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」と深く関係し、言葉によるものの見方や考え方を、多面的に捉え、学習者が未来の世界を変えるための知識と力を獲得することを願って立てられています。

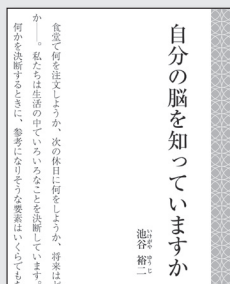
単元のキーワードに即した多様な話題をとおして、生徒が自ら問いを立て、その問いについて試行錯誤し、協力し合って主体的、対話的に課題を解決する力(自己学習力)を育てます。

●自己／他者／物語

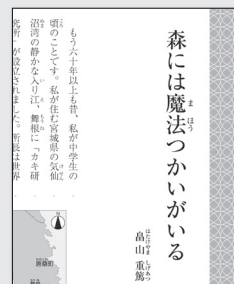


▲P.242

●自然／環境／科学

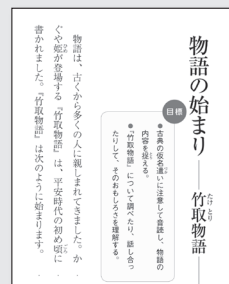


▲P.34

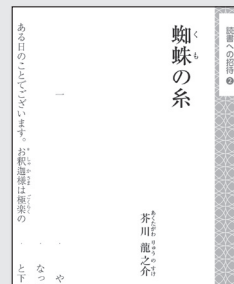


▲P.88

●伝統／文化／歴史



▲P.114



▲P.128

2. 学習内容を明確化する「学びナビ」と課題を追究する方法

- ・「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「メディアと表現」の各教材について、「学びナビ」を設定しています。
- ・「学びナビ」は、各教材の学習に入る前に読み、内容をより深く読んだり、学習内容を認識したりするための手だてを示し、学習へのかまえをもたせるページです。

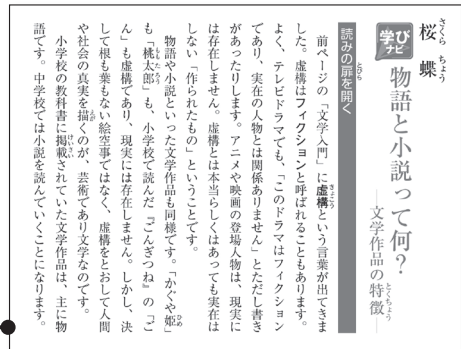
「読むこと」：「何が書かれているか」だけでなく、「どのように書かれているか」にも着目して読めるような「読み方」を提示し、自ら読む力を養います。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」：表現をするときにはたらく思考との関係を提示し、論理的な思考力に基づく表現力を養います。

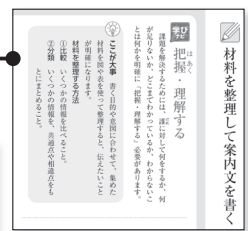
「メディアと表現」：写真や広告など、身のまわりにあるさまざまな媒体の特徴と言葉との関わりを提示し、言葉を活用する力を養います。

- ・学習にあたって確実に身につけたい重点的な内容を「ここが大事」にまとめています。

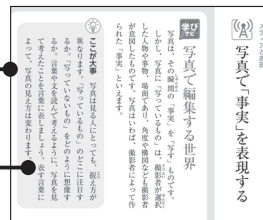
学びの基礎となる課題解決の手順や思考の方法について、可視化したり、取り立てたり、関連させたりしながら、自ら学びに向かう力を身につけます。



▲P.18 「読むこと」『桜蝶』『学びナビ』



▲P.71 「書くこと」『材料を整理して案内文を書く』



▲P.64「メディアと表現」『写真で「事実」を表現する』

新たな学びの課題に対応し、「資質・能力」育成の具現化を旨とした内容の工夫

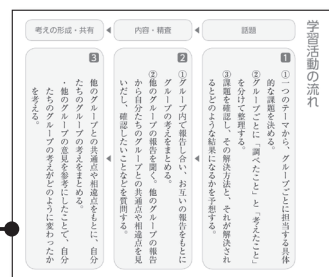
学習を見通し振り返る能力と、学習の過程に即して課題解決に向かう能力を育成する。

- ・言語活動をとおして確かな学力を身につけるため、学習指導要領に示された「学習過程」の習得を踏まえ、言語活動の展開を明確にしています。

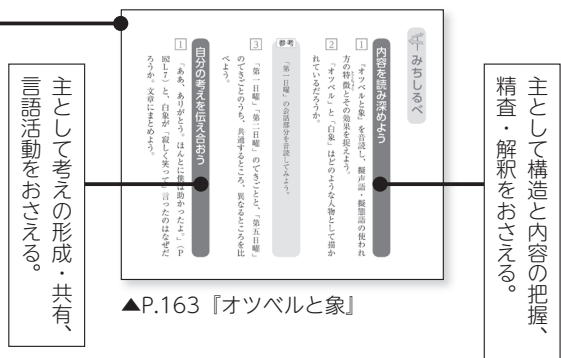
「話すこと・聞くこと」「書くこと」：活動の過程を明確に示し、その教材での重点を示しています。

「読むこと」：学習の手引き「みちしるべ」において、学習過程に即して段階を整理しています。

- ・「目標」「振り返り」：課題意識を高め、学習内容を見通したうえで目標を達成したか、学習者自らが学習の方法や内容を振り返り、学びを自覚化できるように工夫しています。



▲P.180 「話すこと・聞くこと」『調べた内容を聞く』

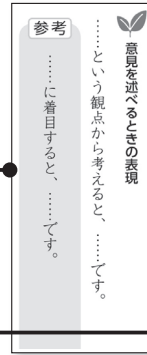


▲P.163 『オズベルと象』

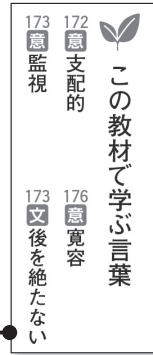
思考と語彙の連携により、情報を適切に扱う能力を育成する

- 各領域の教材で、**学習に関わる語彙や表現**をまとめ、教材の中の多様な**情報（内容）のつながり**を把握し、**活用する力**を育成できるようにしています。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」：言葉のまとめ
 「読むこと」：「この教材で学ぶ言葉」



▲P.49『内容を整理して説明する』



▲P.177『子どもの権利』

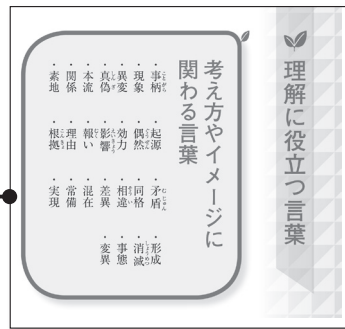
- 各領域の「学びナビ」では、理解したり表現したりする活動を支える**思考の言葉や学習用語**を取り立てて示し、**学習を意識化**できるようにしています。(P.6『言葉の地図』で、その全体を見通すことができます。)



▲P.9『言葉の地図』

- 巻末折込では、その学年や中学校でおさえておきたい**語彙や表現の観点や例**を示し、教材とつなげながら語彙や表現を豊かにできるようにしています。

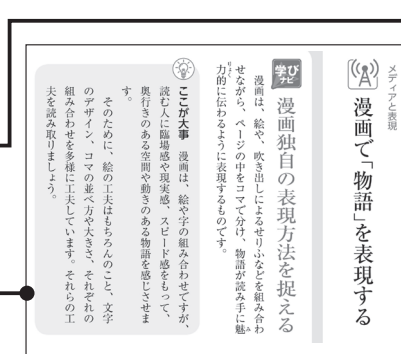
折込④『理解に役立つ言葉』
 折込⑥『表現に役立つ言葉』



▲巻末折込④『理解に役立つ言葉』

- 「メディアと表現」：身近なメディアにおける**表現**について、言語との関わりをとおして理解と活用を促します。

P.62『全ては編集されている』
 P.64『写真で「事実」を表現する』
 P.102『広告の情報を考える』
 P.226『漫画で「物語」を表現する』



▲P.226『漫画で「物語」を表現する』

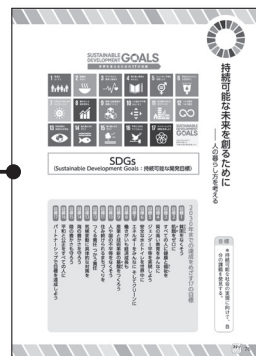


▲P.62『全ては編集されている』

自ら問いを発見し、問いに向き合い、解決を目指すことにより、言葉をとおして社会との関わりを考える

- 現代社会、国際社会におけるさまざまな課題について、言葉との関わりを踏まえながら、**主体的に身のまわりの話題や事象をもとに考えていく教材**を設けました。

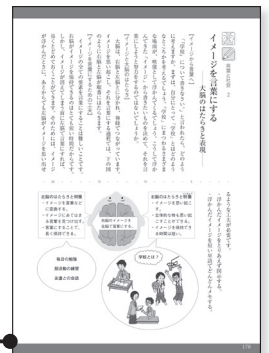
P.76『持続可能な未来を創るために——人の暮らし方を考える』



▲P.76『持続可能な未来を創るために——人の暮らし方を考える』

- 身につけておくべき**コミュニケーション能力**をもとに、**日常生活から社会生活へと意識を高める教材**を設けました。

P.26『言葉と社会 1 言葉とコミュニケーション』
 P.178『言葉と社会 2 イメージを言葉にする』



▲P.178『イメージを言葉にする』

言語文化を継承し、担い手となる自覚を促す

- 古典教材では、**作品の特徴や特質**を踏まえ、内容の理解を深めるための「みちるべ」を設定しました。

「内容を捉えよう」→主として知識及び技能、構造と内容の把握をおさえる。

「読み深めよう」→主として精査・解釈、言語活動をおさえる。

- 日常生活の中でも**言語文化を意識づけられるよう**、教材の内容や配置を工夫しました。

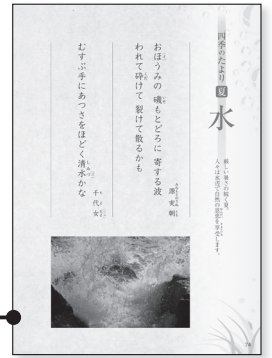
『四季のたより』 P.30『春花』 P.74『夏水』

P.108『秋月』 P.234『冬雪』

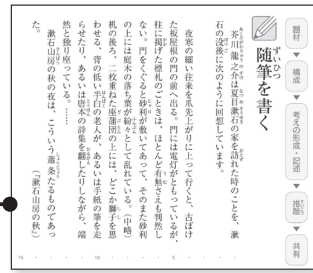
P.306『小倉百人一首』

- 言語文化を享受するのみに終わらず、**自ら次の世代に伝えていく**ために、活動的な教材を設けています。

P.165『随筆を書く』



▲P.74『四季のたより 夏水』



▲P.165「書くこと」『随筆を書く』

豊かな読書生活の実現により、言葉の力を高める

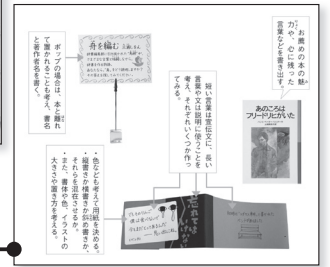
- 各単元のキーワードと関わる図書を紹介した『**広がる本の世界**』を設け、**多種多様な本を紹介し**、読書へ誘う工夫をしています。



▲P.28『広がる本の世界1』

- 図書館の活用など、**読書に関する知識、情報、活動も充実させています**。

P.52『ベンチ』



▲P.59『ベンチ』「みちるべ」

自ら学び、他教科や日常生活での基礎となる

- 言葉のはたらきを学ぶことで、**全ての教科の基礎となるよう**、**言葉の知識や技能、他教科の学習との関わり**などを示しました。

「**学びナビ**」や「**教材で学ぶ言葉**」などで、学習や思考に関わる用語や表現を取り立てた教材化をはかっています。

「**学びを生かそう**」→「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材に設けています。

- 自分の力でさまざまな文章や資料を読み、表現する教材『**学びのチャレンジ**』を設けました。

206考者……に比べ

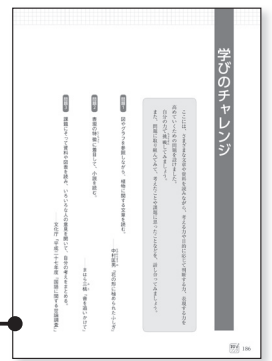
204考情報

考えるときの観点として生かす言葉や表現。

▲P.211『言葉がたぐ世界遺産』「みちるべ」

◀P.43「書くこと」『資料から得た根拠をもとに意見文を書く』ほか

● 学びを生かそう 他教科で自分の意見を明確にする場合に生かそう。



▲P.186『学びのチャレンジ』

さらなる学びの拡充のために

- 当社ウェブサイトをとおして教材に関わる資料などを見ることが出来る「**まなびリンク**」を設けました。
- 学びを広げるための資料、自分の力で取り組むための資料**などを用意しています。



2. 対照表

教材名	学習指導要領の内容		該当箇所	配当時数()内は、 含まれる 領域の時数
	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等		
一 表現/対話/思想 〈詩〉ふしぎ 金子みすゞ 〈物語/小説〉桜蝶 田丸雅智 〈話すこと・聞くこと〉お気に入りの一品を紹介する 〈言葉と社会 1〉*言葉とコミュニケーション 〈文法の小窓・解説 1〉言葉の単位 [伝統文化]*四季のたより 春花	(1)ウ (1)ウ (1)ウ (1)ア ウ (1)エ (3)ア	C(1)オ C(2)イ C(1)イ C(2)イ A(1)ア イ A(2)ア A(1)ウ	P.14～17 P.18～24 P.25 P.26 P.27 P.272～274 P.30	1 4 話聞2 2
二 自然/環境/科学 〈説明〉自分の脳を知っていますか 池谷裕二 〈書くこと〉資料から得た根拠をもとに意見文を書く 〈漢字の広場 1〉漢字の部首 〈言葉の小窓・解説 1〉日本語の音声 〈話すこと・聞くこと〉内容を整理して説明する	(2)ア (2)イ (1)イ (1)ア (2)ア イ	C(1)ア ウ C(2)ア B(1)イ B(2)ア A(1)ア ウ A(2)ア	P.32～40 P.41～43 P.44～45 P.46 P.260～263 P.47～49	5 書6 1 2 話聞4
三 人権/多様性/平和 〈読書〉ベンチ ハンス＝ペーター＝リヒター 上田真而子 訳 〈メディアと表現〉全ては編集されている 池上彰/写真で「事実」を表現する 〈漢字の広場 2〉画数と活字の字体 〈書くこと〉材料を整理して案内文を書く [伝統文化]*四季のたより 夏 水	(1)ウ (2)イ (3)オ (2)イ (1)イ (2)イ (3)ア	C(1)ウ B(1)ア C(2)ウ B(2)ア B(1)ア C(1)ウ B(2)イ ウ C(2)ウ B(1)ア B(2)イ	P.52～61 P.62～67 P.68～69 P.71～73 P.74	4(書1) 2(書1) 1 書5
四 自然/環境/科学 〈総合(SDGs)〉持続可能な未来を創るために ―一人の暮らし方を考える/「エシカル」に生きよう 末吉里花 〈説明〉森には魔法つかいがある 畠山重篤 〈文法の小窓・解説 2〉文の成分 〈書くこと〉根拠を明確にして意見文を書く 〈メディアと表現〉広告の情報を考える [伝統文化]*四季のたより 秋 月	(2)ア イ (1)ウ エ (2)ア 内容の取扱い2(1)ア (2年(1)オ) (2)ア イ (2)イ (3)ア	A(1)ア オ B(1)ア ウ C(1)オ A(2)イ B(2)ア C(2)ア ウ C(1)ア エ オ B(1)オ C(2)ア B(2)ア B(1)ウ B(2)ア B(1)ア C(1)ウ B(2)イ C(2)ウ	P.76～85 P.86～97 P.98 P.275～279 P.99～101 P.102～105 P.108	3(話聞1 書1) 5(書1) 3 書5 2(書1)
五 伝統/文化/歴史 〈古文〉昔話と古典 ―箱に入った桃太郎― 〈古文〉物語の始まり ―竹取物語― 〈漢文〉故事成語 ―中国の名言― 〈読書〉蜘蛛の糸 芥川龍之介	(3)ア イ (3)ア (3)ア (3)オ	C(1)イ C(2)イ C(1)イ C(2)イ C(1)イ C(2)イ C(1)イ エ C(2)イ	P.110～113 P.114～121 P.122～126 P.128～137	1 4 3 3
六 身体/生命/家族 〈詩〉河童と蛙 草野心平 〈小説〉オツベルと象 宮沢賢治 〈書くこと〉随筆を書く 〈言葉の小窓・解説 2〉日本語の文字	(1)ウ オ (1)ア ウ オ (1)ウ 内容の取扱い2(1)ア (小5・6(3)ウ) (1)イ	C(1)イ C(2)イ C(1)エ C(2)イ B(1)エ B(2)ウ	P.140～145 P.146～164 P.165 P.166 P.264～267	1 7 書4 1
七 近代化/国際社会/共生 〈説明〉子どもの権利 大谷美紀子 〈言葉と社会 2〉*イメージを言葉にする 〈話すこと・聞くこと〉調べた内容を聞く 〈漢字の広場 3〉漢字の音と訓 *学びのチャレンジ	(1)ウ (2)イ (1)ウ (1)ウ (1)イ (1)ウ (3)オ	C(1)エ オ A(1)イ C(2)ア A(2)イ A(1)ア B(1)ア A(1)ア エ A(2)ア B(1)ア イ ウ C(1)ア イ ウ エ オ B(2)ア C(2)ア イ	P.170～177 P.178 P.179～181 P.182～183 P.186～198	4(話聞1) 話聞3 1
八 伝統/文化/歴史 〈報告〉言葉がつなぐ世界遺産 橋本典明/〈参考〉地域から世界へ―ものづくりで未来を変える― 関根由子 〈書くこと〉読み手を意識して報告文を整える 〈文法の小窓・解説 3〉単語のいろいろ 〈話すこと・聞くこと〉発言を結びつけて話し合う 〈メディアと表現〉漫画で「物語」を表現する 〈漢字の広場 4〉熟語の構成 [伝統文化]*四季のたより 冬 雪	(2)ア (1)ウ (2)ア (1)エ (2)ア (2)イ (1)イ ウ (3)ア	C(1)ア エ オ C(2)ア B(1)エ B(2)ア A(1)ア オ A(2)イ C(1)ウ C(2)ウ	P.200～218 P.219～221 P.222 P.280～284 P.223～225 P.226～229 P.230～231 P.234	5 書4 3 話聞4 2 1
九 自己/他者/物語 〈詩〉四季の詩 〈小説〉少年の日の思い出 ヘルマン＝ヘッセ 高橋健二 訳 〈言葉の小窓・解説 3〉方言と共通語	(1)オ (1)ウ (3)ウ	C(1)イ B(1)エ C(2)イ B(2)ウ C(1)イ オ C(2)イ	P.236～238 P.240～256 P.257 P.268～271	2(書1) 7 1

(計) 話聞 15時間

書 30時間

計 118時間 (*印の教材は、適宜扱う)